

2026年度 星槎道都大学 入学試験問題

[一般選抜]

一般入試 A日程(2月2日)

国 語

全学部 全学科

◎問題用紙 5枚
◎解答用紙 1枚(両面)

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この中を見てはいけません。
- 2 印刷の不鮮明なものについては挙手をし、監督者へ教えてください。
- 3 解答欄以外にも記入する箇所があります。(氏名・志望学科・受験番号等) 忘れずに記入してください。

※答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

問題一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(あ)

(ア)

(イ)

(ウ)

(エ)

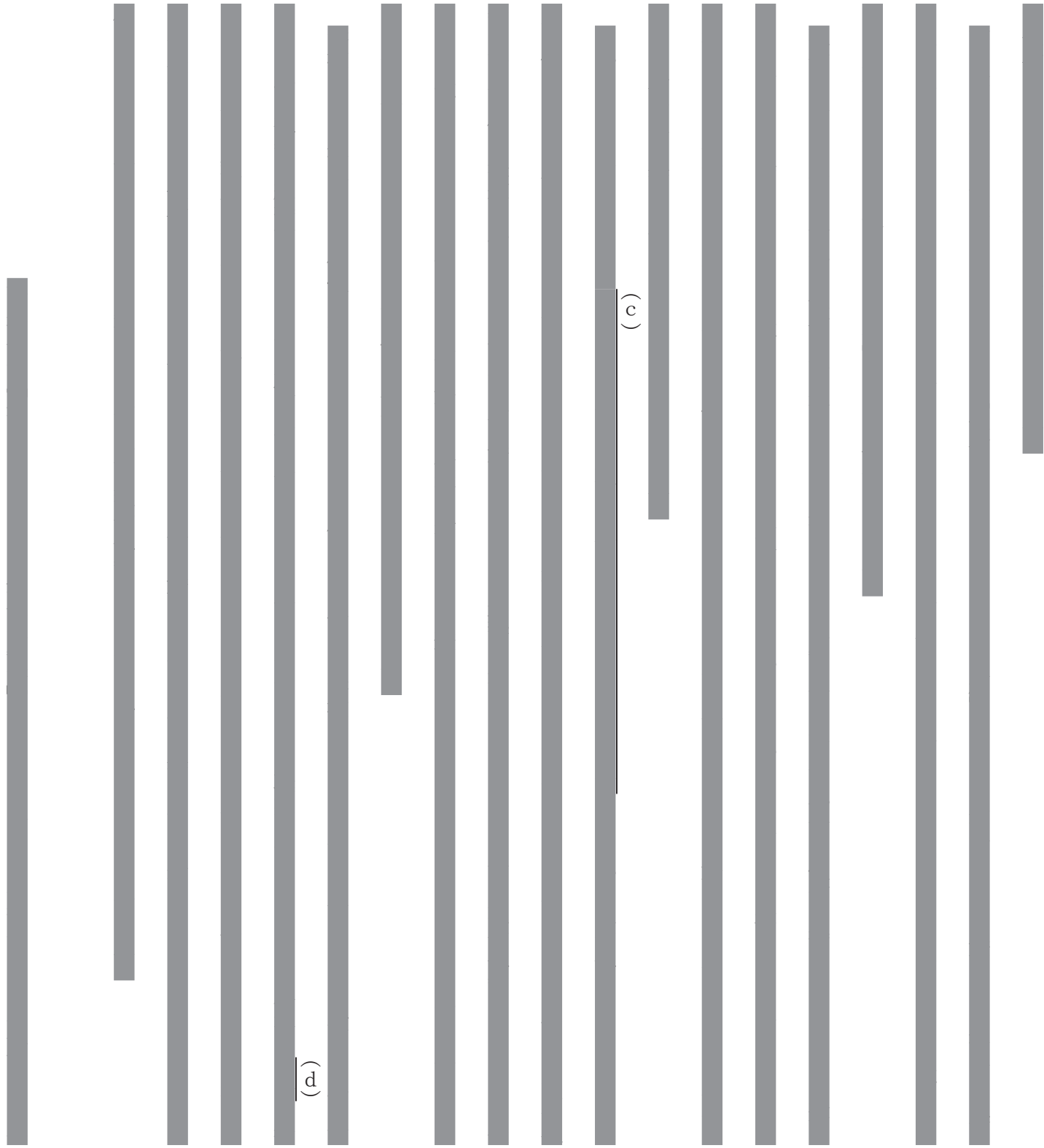
(カ)

(a)

(A)

(オ)

(b)



問一 ―線(ア)く(オ)のカタカナを漢字で書きなさい。

問二 ―線(あ)と(い)の反意語を漢字で書きなさい。

問三 ―線(a) ■の「獵」と、―線(d) ■の「滑」を使用した二字熟語を、それぞれ四個ずつ書きなさい。

問四 (A)に入る適切な言葉を次の①～⑤から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ① 義務
- ② 責任
- ③ 規範
- ④ 宿命
- ⑤ 試練

問五 ―線(b)人間がなぜ「」を持つようになったのか、筆者の考えと合致していないと思うものを、次の①～⑤から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ① 人間は他者と協力することで生き残りやすく増えやすくなったから。
- ② 人間の繁栄のための手段であった協力そのものが価値として認められてきたから。
- ③ 協力することで得た成功経験が積み重なり集団の規範となって受け継がれてきたから。
- ④ 協力することでより快適な生活が手に入れられるようになり、その生活を手放せなくなったから。
- ⑤ 人間が生き残って増えるために他者の能力を利用する必要があったから。

問六 ――線(c)――とはどのようなことか、何がどのように理屈に合わないのか、簡潔に説明しなさい。

問七 本文の主旨を踏まえて、「現代人が他者との関わりに悩む」ことについて自分の考えを百字以内で述べなさい。

問題二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔あ〕
〔ア〕
〔a〕
〔イ〕

(イ)

(ウ)

(エ)

(オ)

(A)

(B)

(C)

(D)

(E)

(カ)

(ク)

問一 — 線(ア) (カ) のカタカナを漢字に、漢字はその読み方を平仮名で書きなさい。

問二 — 線(あ) について、『 』の作者は誰か、次の①～⑤から選び、その記号を書きなさい。

- ① 宮沢賢治
- ② 小川未明
- ③ 椋鳩十
- ④ 新美南吉
- ⑤ 金子みすゞ

問三 問二の作家の他の作品を次の①～⑤から選び、その記号を書きなさい。

- ① 大造じいさんと雁
- ② 泣いた赤鬼
- ③ 手袋を買いに
- ④ オツベルと象
- ⑤ 走れメロス


問四 — 線(い) を漢字で書いたときに、その漢字と同じ漢字を含むものを、次の①～⑤から二つ選び、その記号を書きなさい。

- (い) オドル
- ① 期待に胸をオドらせた
- ② 噂話にオドらされた
- ③ 優美なオドリを披露した
- ④ 一緒にダンスをオドろう
- ⑤ チームが首位にオドリ出た

問五 文中の (A) (カ) (ク) (E) に当てはまるものを、次の①～⑧からそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

- ① もちろん
- ② ところが
- ③ どうして
- ④ そして
- ⑤ しかし
- ⑥ つまり
- ⑦ そのことが
- ⑧ さらには

問六 — 線 (a) について、「」とはどのようなことか、五十字以内で書きなさい。

問七 — 線 (b) について、「」とはどのようなことを指しているか、次の①～⑤から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ① ストーリーがわかっているのに読むたびに同じ感情が湧き起こること。
- ② 本の世界と現実世界を自由に行き来できること。
- ③ 本の中で遊ぶことで現実の嫌なことが忘れられること。
- ④ 本の世界で味わう多様な感情は現実世界とは同じではないということ。
- ⑤ 「悲しい」という感情の複雑さに気づいたこと。

問八 本文を読んで、自分の心に残る読書体験について百字以内で書きなさい。